各種委員会報告

東連：測候章講習会開催される

5月27日の15時から、翌28日の16時まで、陸上自衛隊立川駐屯地にて、東連主催のベンチャー測候章の講習会が開催された。参加スカウト10名、指導者10名でた。
基本的なスカウト技能として、歩幅や身体を使って計り自分で地図をつくる方法を学んだ。伊能忠敬の世界です。
八王子地区として、残念ながらベンチャーの参加者なし。
記事提供：岡本野行委員長

地区：ベンチャー救急法講習会開催される

6月11日(日)の午前9時から午後8時まで、ベンチャー向け救急法講習会が由井市民センターで開催された。
午前は東京消防庁の講師から普通技能講習とAEDの実習、午後は岩田主任講師によるボーイスカウト救急法の講習。
夜は、考査試験に挑戦し全員が合格することができた。
参加者は、2団1名、5団2名、7団1名の5名。指導者8名。皆さんお疲れ様でした。
記事提供：岡本野行委員長

東連・救急法講習会実施報告

6月17日(土)～18日(日)の午前9時から午後5時まで、救急法講習会・開設研究会が小金井消防署で開催された。
参加者は17名、八王子地区からは2名が参加。
18日は15名が参加しADの使用方法を習得した。
夏季キャンプやジャンボリーが開催されるなか実技を改めて履修して良かった、という感想があった。
次回は12月3日にリフレッシュコースを予定。

滝山キャンプ場　草刈奉仕

6月24日(土)～25日(日)の両日、午前9時からお昼まで滝山キャンプ場の草刈が、野営行事委員会の呼びかけで実施された。各団から夏季キャンプを控えて忙しい中、皆で草刈に汗を流しました。お疲れ様でした。

スカウトの日　活動報告

9月18日までに、今年も「スカウトの日」奉仕活動が各団で展開され、八王子地区の主計結果は次のような成果がありました。自分の住む街の環境美化に、奉仕されたスカウトの皆さん、ご苦労様でした。
アルミ缶288個、スチール缶168個、ペットボトル225個、その他29個と可燃ごみ、不燃ごみ各4袋/20Lで、参加者数は、スカウトと指導者合計170人でした。
記事提供：岡本野行委員長

富永さん　安らかに

『親愛なる、富永さんへ』

追悼のことば　　大神田　久地区委員長

貴方は、しつも誰と会ってもあの笑顔と握手での挨拶がトレードマークでしたね。私にとっては父のような大きな存在でした。事実、ご長男は私と同じ歳でスカウト活動をご一緒にした時もありました。貴方は地区役員としても長年奉仕され、野営行事委員長、組織拡張委員長を歴任されました。また、生涯現役の隊長として多くの指導者やスカウトに良い影響を与えられ、今でも沢山の教え子が、地区内の中枢指導者として活躍しています。貴方が大きな声で号令をかけている姿や声が私の脳裏に今でも焼きついてますよ。
きっと天国でも制服を着て、先人の方々に大きな声で挨拶をされ、肩を叩き合っているのでしょうね・・・。
「一度スカウトにちかいをたてて、成りし身は死して後もスカウトだ・・・。」　　合掌

富永地区組織拡充副委員長 逝去

八王子第11団ローバー隊長の富永　坦様におかれましては、病気療養中のところ、8月26日(土)逝去されました。ここに、謹んでご冥福をお祈り致します。
富永さんは、昭和46年、八王子第2団の団委員として活躍を始められ、以来指導者として第一線に立ち35年間に亘り活躍されました。地区内の指導者不足で困窮している団の要請を受け、5個団(2、5、14、11団)の隊長としてスカウトの指導に携わって来られました。
地区役員としては、昭和63年～平成2年までカブ担当副コミッショナー、平成2年～平成6年まで野営行事委員長、平成7年～平成14までは組織拡張委員長を歴任されました。
平成16年、17年は組織拡張副委員長として新任委員長をサポートされ後進の指導にあたられ、長年に亘り多大なご尽力を頂きました。
東京連盟創立50周年記念の銀座パレードでは先頭を行進する勇姿が、また7月の第14回日本ジャンボリー派遣隊結団式では病気療養中の身体でありながらも、スカウトの為に参加下さり、出発するスカウトに激励の言葉を頂きました。
富永さんが指導された大勢のスカウトの心に、そして地区の指導者の皆さんの心に、あの元気で大きな声と、制服姿が今も残っています。富永隊長、本当に有難う御座いました。

訃報

ボーイスカウト、ガールスカウト八王子地区連合育成会会長の萩生田　光一様のご母堂、芳江様におかれましては、病気療養中のところ7月11日(火)に逝去されました。ここに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

今後の予定

2/18(日)	平成19年度地区登録審査
2/18(日)	大東京マラソン2007・奉仕
2/23(金)	第3回地区協議会
2/25(日)	第57回全関東夢街道駅伝競走大会・奉仕
3/4 (日)	スカウト運動説明会
3/11(日)	デンリーダ研究会
3/23(金)	第7回地区委員会
3/25(日)	第18回視覚障害者健康マラソン東京大会
4/8 (日)	高尾山仏舎利法要・奉仕
4/15 (日)	高尾山春季大祭・奉仕
4/22 (日)	指導者講習会
4/27 (金)	地区定例総会

スカウト運動説明会を開催します！！

来る3月4日(日)に八王子市堀之内・地蔵山キャンプ場で新しくこの運動に参加された方や、スカウト運動について、もう少し知りたい方、改めてこの運動について理解したい方のために『スカウト運動説明会』を下記により開催します。
皆さんが気軽に参加されますように詳しくは団委員長に
- 日　時：平成19年3月4日(日)9時30分集合
  15時30分解散予定
- 場　所：八王子市堀之内・地蔵山キャンプ場
  多摩テック正門前より徒歩約15分
- 参加費：500/円人(昼食が出ます)
- スカウト運動の魅力と特色について
  詳しくは団委員長に

編集後記

広報誌28号から、リニューアールしA4サイズで発行。
今回は各隊や地区の関係者の方々から、ご協力を頂いて沢山の記事や写真の提供があり充実した内容で編集できました。これからも地区広報活動の重要性を認識し、皆様の役立つものになるよう取り組んで行きますので、よろしくご支援とご協力を御願い致します。
広報委員長　山口　慶薫

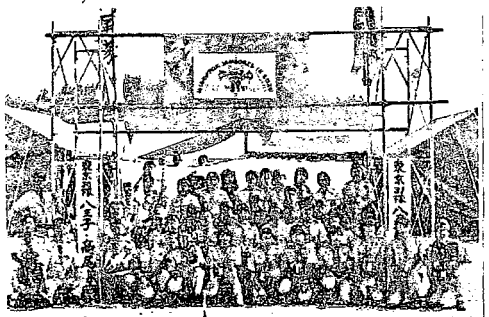
モットー
そなえよつねに

スカウティング はちおうじ

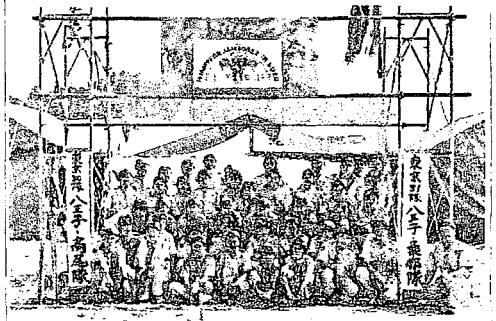
第28号
発行：平成19年　1月28日
日本ボーイスカウト東京連盟
八王子地区・広報委員会
発行責任者　山口　慶薫

スローガン
一日一勝

14NJ 地区派遣隊 2ヶ隊で参加



東京第30隊　高尾隊の派遣スカウトとリーダ



東京第31隊　桑都隊の派遣スカウトとリーダ

第14回・日本ジャンボリーが8月3日(木)から7日(月)まで、石川県珠洲市鵜島町「りふれっしゅ村　鉢ヶ崎」で、国内外22,000人のスカウト、リーダを迎えて開催された。
設営に始まり開会式、選択プログラム、宗教儀礼、大集会、自主プログラム、国際交流、環境整備、閉会式、撤営と4泊5日のプログラムが繰り広げられた。
大会テーマは「風の不思議を突っ走れ！」で、特に世界スカウト運動100周年記念事業の記念すべき大会となった。
能登半島の先端に設けられた、ジャンボリー会場は、日本海の自然をいっぱいに感じられ、会場は連日晴天に恵まれ照りつける真夏の日差しと、夜は海からの風を受けていた。
八王子地区からは、64名のスカウトと16名の指導者で、2ヶ隊の派遣隊を編成し、4年に一度の大会に参加した。

地区では、参加希望者の募集から派遣隊指導者の要請と、コンテナやバスの手配、派遣隊の備品や食料品を準備。
派遣スカウトは合同集会や事前訓練を実施し参加した。
ベンチャー6名が、東京連盟の奉仕スタッフとして参加し、大会を陰で支えてくれた。
大会期間中は毎日暑い日が続き、会場のあちらこちらで手当てを受けるスカウトが出たが、地区派遣隊のスカウトたちに大きなトラブルも無く、国際色豊かなスケールのあるジャンボリーを楽しんだ。能登半島らしいサプライズがあって地引網を体験し、アジや鯛にカレイなど新鮮なお魚が大漁。
地区専用のリヤカーで配るほどたくさん獲れた。
4年に一度の大会に参加したスカウトとリーダは、友情と相互理解を深め、再会を誓い合って大会を終了した。

真夏の青い空と白い雲、これがジャンボリー

写真提供：鈴木地区コミッショナー

高尾山 仏舎利法要 奉仕

4月8日(土)に午前9時から12時まで、高尾山で仏舎利法要が行われ当地区からスカウトが奉仕にあたった。今年はお釈迦様の誕生日の開催となり、例年日曜日の開催が土曜日となって、スカウトの参加が心配されたが、好天にも恵まれ、大勢のスカウトが会場の設営、導師案内、甘茶のサービス、撤営などを担当した。
当日は、お釈迦様の誕生日ということで、一般の参加者が沢山あって盛大のうちに無事終了した。
参加人数は、八王子地区から402名の参加と他地区からは、第一地区:2名、大多摩地区:3名、南武蔵地区:1名、多摩川地区:2名、南多摩地区:6名、OB:6名とガールスカウトから2名の参加があり総勢424名。当日、奉仕された皆さん大変お疲れ様でした。

記事提供:岡本野行委員長

高尾山 春季大祭 奉仕

4月16日(日)に午前10時から午後1時まで、高尾山春季大祭が行われた。スカウトは、高尾山十一丁目茶屋前から有喜苑広場、薬王院までの沿道を、幟持ちや苫小牧市からの献上品の御神輿担ぎを担当した。
参加スカウト49名、指導者14名の63名が奉仕されました。奉仕された皆さんには、ケーブルの往復乗車券とお弁当が主催者から提供されました。皆さん、ご苦労様でした。

記事提供:岡本野行委員長

献上品の御神輿を担いで、沿道を練り歩くスカウト。
写真提供:鈴木地区コミッショナ

八王子花火大会に奉仕

7月29日(土)に午後3時から午後8時まで、八王子富士森公園にて、今年も盛大に花火大会が開催された。
地区から各団の指導者が、夏季キャンプや日本ジャンボリーを控えていたが大会の安全を願い場内の誘導整理に奉仕。午後6時から、色とりどり大小様々な花火が3000発が打上げられ、大勢の観客たちを魅了した。
地区が担当した会場は、野球場と陸上競技場の2ヵ所で、今回は、夏季スケジュールの関係で指導者だけで対応したため人数が不足。 八王子観光協会からの要請は30人。来年は是非皆さんの奉仕を御願いします。
ちなみに、翌日の会場清掃は午前6時から、立正佼成会の方々400人が奉仕されるようです。 凄いですねぇ。

記事提供:岡本野行委員長

高尾の森づくり・奉仕参加

3月26日(日)桜が満開の裏高尾において、東京西ロータリークラブ40周年記念行事として開催された"高尾の森づくり"に参加した。 この日、スカウトは植林や間伐方法について説明を受け、実際に間伐作業を見学した。続いて、次の世代のために新たな森づくりを目指した植林を行った。

参加されたスカウトと指導者の皆さんお疲れ様でした。
写真記事提供:阿曼地区副コミッショナ

八王子 灯篭流し奉仕

7月7日(月)午後4時から午後8時まで、毎年恒例の八王子灯篭流しが行われ会場係や灯篭の回収を担当した。
八王子市役所前の鶴巻橋下の浅川河川敷に集合。生憎の雨模様であったが地区委員とベンチャーが調理した美味しいカレーライス100食が夕食として配給された。
今年も、戦争で亡くなられた大勢の方々の冥福を祈って、いくつもの灯篭が流された。
参加スカウトは45名、指導者15名、ガールスカウトを含め、60名の方が奉仕された。皆さんお疲れ様でした。

記事提供:岡本野行委員長

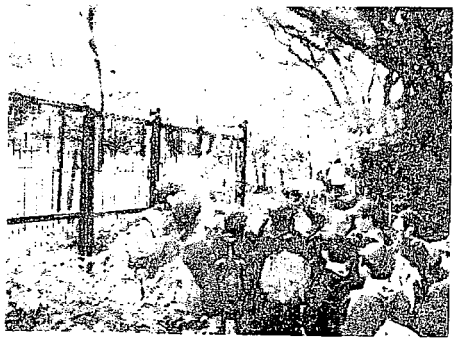
カブ ラリー開催される

地区合同プログラム

5月14日(日)、前日までの大雨もすっかり上がり、気持ちの良い日となりました。八王子地区のカブスカウト109名とリーダ53名は、滝山キャンプ場に集結しました。「むかしむかし浅川の周辺はいくつかの国に分かれていて、王子様が住んでいました。王子様には、それぞれ違った悩みがあり勇敢な若者に何とか悩みを解決してもらいたいと願っていました。」というお話を聞いて、カブスカウトたちはタイムトンネルを通って過去へ旅立つのでした。

今日のひよどり山トンネルはタイムトンネルです。時空の狭間には不思議がたくさんありますが、注意深く観察できたかな。弓、たこ、鳥居、鬼があったり自転車のベルを鳴らしっぱなしのおじさん(?)がいたりで、小宮公園の中には9人の王子様に扮したリーダがあっちこっちで悩み(課題)を打明けました。悩みの解決法(課題の正解)を王子様に伝えるため、カブスカウトは何度か行ったり来たりして、それを時間内に解決するため、アップダウンの厳しい小宮公園を同行したリーダが少々バテ気味になるくらい、スカウトは元気に走り回りました。制限時間内に、王子様全員の悩みを解決できた組のうち、上位3組が最後に表彰されました。

「あたま」と「のう」を
きたえて、王子をすくえ !!



各団ごとに和気あいあいとカブ弁を食べたあとは、21世紀への坂道を下りて来て、16号沿いのゴミ拾いを行いました。わずかな時間でしたが、かなりの量のゴミが集まりました。
閉会セレモニーで、カブ部門担当の森田副コミッショナーから「一人ひとりが汚さないように注意をすれば町はきれいになります」というお話を聞いてカブラリーは無事に終了しました。よく歩いた一日でした。
カブラリーの計画準備をされた指導者の皆さん、大変お疲れ様でした。

記事写真提供:八王子第5団カブ隊 隊長 三田 武
ならびに、森田地区カブ担当副コミッショナー

地区・ビーバーズ デイ

サッカーゲーム だよ!!

地区合同プログラム

5月14日(日)片倉城址公園二の丸広場で、地区合同プログラム、ビーバーズディが9ケ団のスカウト55名と35名のリーダが参加し総勢90名で行われました。
今日の隊長のお話、歌、動物の泣き声クイズの後、ある副長が不思議な棒を拾ってきました。説明書の通り一人のリーダにゴリラにな～れ」と呪文を唱えて棒を振ると、たちどころに身振りよろしくゴリラに変身･･･ 次々に呪文を唱えて棒を振って魔法を掛けていると、スカウトから「やらせてー」「僕にも魔法かけてー」と声が上がり始めました。
スカウトが盛り上がってきたところで、準備運動を兼ねて色々な動物に変身して広場中を駆け回りました。
「うさぎにな～れ」と言うとうさぎ跳びをし、「フラミンゴに･･･」では片足跳び、「だんご虫･･･」と言うと、皆一緒にでんぐり返しを行いました。「蟹」に変身中、一人のスカウトが目に留まりました。その手は蟹の手にしてゆっくり横歩きして、途中で地面から蟹の手で餌をつかみ口に持っていき、もぐもぐと楽しそうに「蟹」になりきっていました。
続いて全体ゲームを行うため、5枚の新聞紙でマイサッカーボールを作りました。全体ゲームで「全員サッカー」や「守るも攻めるも」など4つのゲームを楽しみました。
昼食後は個人ゲームで「シュート オン」「サッカー カーリング」など5つのゲームコーナーをマイサッカーボールを持って回るポイント形式でたっぷりと楽しみました。

記事提供:菊池 陽子地区ビーバー担当副コミッショナー

2006 SUMMER CAMP

△ ボーイ隊・合同夏季キャンプ △

地区合同隊・IN 武田の杜

8月12日(火)から16(水)まで、山梨県甲府市羽黒町片山"武田の杜キャンプ場"で、ボーイ隊の1団、3団5団、7団、11団、そして14団の合同夏季キャンプが実施された。今年は日本ジャンボリーが開催されたこともあり、各団の指導者体制や日程調整、資材準備などが難しいなか、夏季夏季キャンプを実現するため、ボーイ部門の隊長たちの話合い、この合同夏季キャンプが立上げられた。
各団からスカウト20名、プログラム担当指導者の10名と、野営管理担当指導者13名の43名が参加。
キャンプのプログラムは、初日の開営式ではじまり、各班がサイトの設営後は早速美味しい夕食、夜は夜間観察。
2日目は、午前中は手旗通信に地図とコンパスの使い方、午後はオリエンテーリング、そして班対抗の夜間ゲーム。
3日目は、メインイベントの楽しいハイキングに出かけて、コースの途中で温泉に入り3日分の汗を流した。
夜はキャンプファイヤーの出し物の準備と盛り沢山。なかでも4日目のパイオニアリングでは、丸太とロープで作った合掌橋にはスカウトたちも感動した様子。

開営式　国旗掲揚　キャンプの始まり

普段なかなか体験できないプログラムや、20名の隊で4個班の編成で本格的なキャンプ生活を実体験できた。
なかはジャンボリーに参加したあとに、このキャンプに参加したスカウトもいたが、皆と一緒に元気一杯に活躍していた。
即席の班編成でスカウトはグループワークやリーダシップを学び大きな成果を得ることができた。
参加スカウトもリーダもこの夏季キャンプを通じて普段の隊動や班活動を積み重ねていくことの大切さを実感した。

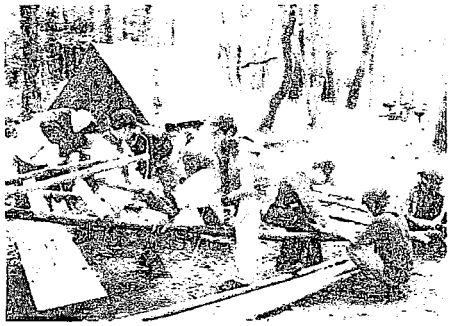
オリエンテーリングの説明を聞くスカウトたち

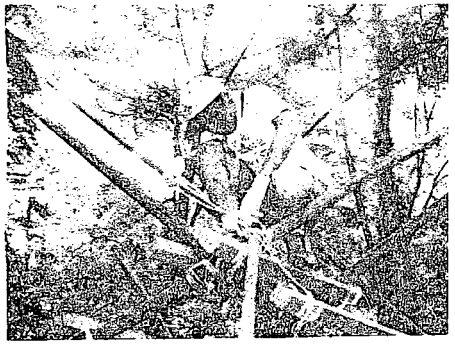
5日目の最終日は、撤営を時間内に間に合わせないと、千代田湖畔からのバスに乗り遅れて、甲府駅まで徒歩で山を降りる事になるので、各自が力をあわせて撤営に取組みリーダがやきもきするなか、各班が頑張ったこともあったが何とかギリギリで点検を受けることが出来た。
あっと言う間の4泊5日のキャンプも無事に過ごすことが出来て、色々な思い出を作ってくれたキャンプ場に感謝だけを残して閉営式を迎えた。
参加したスカウトは、大勢の仲間が一緒に活動していること、仕事で忙しい中リーダたちが準備してくれ指導してくれたことを忘れずに、これからも切磋琢磨して欲しい。この合同夏季キャンプ実施にあたって、大神田地区委員長をはじめ、鈴木地区コミッショナー、そして各団から奉仕された方々には大変お世話になりました。お疲れ様でした。

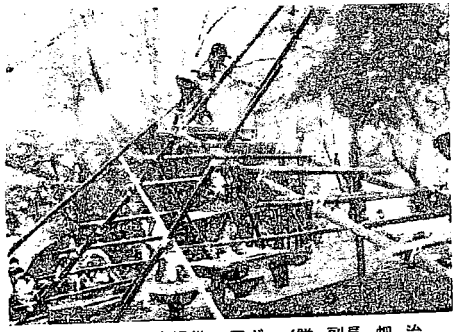
ハイキングのゴール付近

写真記事提供:7団ボーイ隊　副長　畑　治

パイオニアリングに取組むスカウトたち







写真記事提供:7団ボーイ隊　副長　畑　治

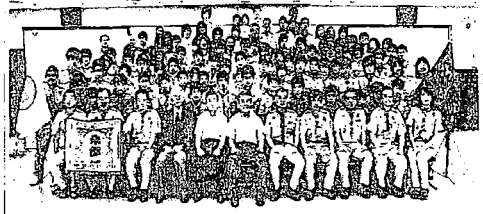
ボーイ部門の活動報告

14NJ地区派遣隊・事前訓練行われる

5月14日(日)、石川県珠洲市で開催される第14回日本ジャンボリーに参加が決まった、2個隊のスカウト64名とベンチャー5名、リーダ16名が事前隊集会を開催。隊編成と班編成が行われ、ジャンボリーの概要と今後の日程説明と諸注意と事前課題が提示された。大会本番に向け参加スカウトの胸踊る二カ月半の特別訓練が始まった。
翌月、6月3日(土)～4日(日)にかけ、滝山キャンプ場において、地区派遣隊の事前訓練キャンプが行われた。

14NJ地区派遣隊・結隊式開催する

7月28日(金)　午後7時30分より、地区協議会に先駆け八王子市役所903．904会議室にて、第14回日本ジャンボリー派遣隊結隊式と日韓スカウトフォーラム派遣スカウトの岩田将基君の壮行会が開催された。
来賓の黒須隆一市長をはじめ石川和昭教育長、萩生田光一育成会長らの激励やご挨拶を頂きました。引き続き、派遣隊指導者に大神田地区委員長より委嘱状が渡された。
鈴木地区コミッショナーのお話のあと、高尾隊、桑都隊のスカウトの名前が班ごとに呼び上げられ、地区の代表として大会に臨み、色々な体験をし大きな成果が得られるよう励まされ、保護者とともに記念写真に収まった。



☆ 葛野川発電所見学 ☆

6月18日(日)ボーイ部門の地区合同行事として、山梨県大月市にある、東京電力葛野川発電所を見学した。
JR猿橋駅に集合したスカウト70名はTEPCO葛野川PR館へ、先ず揚力発電の原理を理解し葛野川発電所の設備や発電の仕組みを学んだ。その後一行は2台のバスに分乗。いざ本命の地下発電所に向かった。地下500mに突如と広がる高さ54mX幅34mX深さ210mという巨大な空間に圧倒され、人間の知恵と力の素晴らしさを実感した。
帰路、日本三奇矯の"猿橋"を見学した。

写真記事提供:阿妻地区ボーイ担当副コミッショナー

第361回指導者講習会開催される

4月18日(日)、午前9時から午後5時まで八王子市館事務所において、平成18年度地区の指導者養成事業である、東京連盟第361回指導者講習会が開催された。
今年度から主任講師が東京連盟から派遣されることになり、武蔵野地区の柳　久之服リーダトレーナーが担当された。
講師には、地区トレーニングチームから鈴木、足立、森田、山口が担当し、ソングゲームを藤本、菊地が担当した。
参加者は、2団小川保昭、辻　和也、坪根祐也、神谷達也、3団小川公也、山越永大、5団市川眞己、小坂聖、坂本俊明6団谷津孝伸、土井智太郎、7団奥村博樹、及川淳史、8団清水晃久、藤田雅一、10団小林達也、中川明彦、11団中西留美、12団清水　忠、川原田留美、13団底押秀康、座間味正純、竹井宏貴、14団中村里枝、15団福島可奈子、吉原健司、の皆さんでした。(敬称略)
参加された皆さんが、指導者として新たな一歩を踏み出して、これから活躍されて行くこと祈っています。
地区指導者養成委員会からは、志村指導者委員長をはじめ、服部、井部両副委員長と山本委員、横倉委員が奉仕した。
大神田地区委員長をはじめ、皆さんお疲れさまでした。

第91回スカウトキャンプ研修会合同開催

キャンプを主体とした野外活動を指導する指導者のために、知識と技能を学ぶ、東京連盟第91回スカウトキャンプ研修会が開催されました。 今年も大多摩地区と合同開催とし、スタッフを適正に配し、しっかり準備することで質的にも充実した研修を提供できるようにした。
このスカウトキャンプ研修会は、指導者歳の基本コースという位置づけと、ウッドバッジ研修所に参加する指導者にとって、必須コースであります。
5月28日(日)、午前9時から午後4時まで福生市の福祉センターにおいて講義、6月10日(土)の子全9時から11日(日)の午後4時まで地蔵山でキャンプ実習が行われた。
主任講師には、大玉地区の菅野　武利副リーダトレーナーが講師に、地区トレーニングチームから鈴木、足立、森田、畤田高橋、山口が、隊長に山下、副長に阿妻、斎藤の各氏が担当され、地区役員から大神田地区委員長が出席された。
研修会では、講義でスカウトキャンプの意義や目的、キャンプ生活、快適なキャンプサイトや、班集会や班会議について知り、実習ではロープワーク、キャンプクラフト、刃物の使い方、野外料理にナイトプログラム、キャンプファイヤー、ヤーン、スカウツオン、朝の点検やセレモニー、撤営などを学んだ。
参加者は、2団小杉純平、渡辺元晴、5団小坂　聖、6団土井智太郎、内田智典、7団及川淳史、富重裕晶、10団小林達也の皆さんでした。(敬称略)
地区指導者養成委員会から、志村委員長をはじめ服部副委員長、井部副委員長と山本委員、横倉委員が奉仕した。
スカウトキャンプに参加された皆さんお疲れさまでした。

会議報告

地区定例総会開催される

平成18年度地区定例総会が、4月28日(金)に午後7時30分より、大和田市民センターにおいて開催された。
平成18年度地区有効章の表彰、スカウト増員団の表彰に続き、総会議案の平成17年度地区活動報告、コミッショナー報告、平成17年度決算報告、平成18年度地区役員承認、平成18年度行事計画と地区予算案を審議し全会一致で承認可決された。

第一回地区協議会開催

7月28日(金)、八王子市役所903.904会議質において14NJ派遣隊結団式に続き、第1回地区協議会を開催。
田辺協議会長、ならびに大神田地区委員長の挨拶の後、地区コミッショナー、各団の団委員長と隊指導者が出席するなか、夏季キャンプに向けた注意事項が伝えられた。

第一回地区委員会開催

5月26日(金)の午後7時30分より、大和田市民センターにおいて、第一回地区委員会が開催された。
1.地区定例総会における議案可決の報告
　地区役員として4～5名のスタッフ協力を各団に要請
2.地区会計についての提案
3.14NJ派遣隊の規模、募集途中経過、事前訓練について
4.東連定例総会の報告と問題点について
　分担金は臨時総会を開催し再審議となる。
5.各委員会より報告、伝達
が審議された。

第二回地区委員会開催

6月23日(金)の午後7時30分より、大和田市民センターにおいて、第二回地区委員会が開催された。
1.14NJ派遣隊準備の経過報告
2.第321回指導者講習会実氏報告
3.第91回スカウトキャンプ実施報告
4.WB研修所参加報告
5.各運営委員会からの報告と伝達
などについて審議、確認された。

第三回地区委員会開催

9月22日(金)の午後7時30分より、大和田市民センターにおいて、第三回地区委員会が開催された。
1.14NJと夏季行事報告
　無事故確認とスカウトの得た成果について
2.第22回地区ラリーの計画状況
　準備状況と各委員会との調整について
3.多摩8地区懇親会について
4.各種運営委員会からの報告と伝達
5.ナイフのと取り扱いに関する指導再確認
などについて審議、確認された。

第一回　団委員長会開催

8月27日(日)の午後3時より団委員長会議が開催された。
1.14NJ派遣隊の報告と総括
2.団担当コミの活動について
3.団組織と将来展望について
4地区への要望について
5.その他提案事項について
などが話し合われた。

ウッドバッジ研修所参加報告

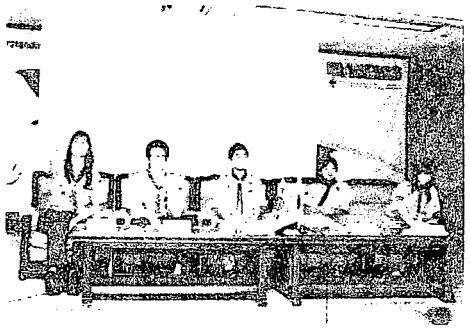
次の方が平成18年度のウッドバッジ研修所を終了した。
ボーイ課程　第121期　4/29～5/2　日向野営場
第7団　横井　輝(カブ隊長)

韓日スカウトフォーラム派遣

韓日スカウトフォーラム派遣実施報告

八王子第7団　ベンチャー隊 岩田　将基

インチョン国際空港に到着し、間に夕食をとり約6時間。全羅南道　順天市のフォーラム会場に移動した。インチョンはとても発達した都市で、日本よりも車道が広く右側通行であったり色々な違いが直ぐに見られた。
早速会議が始まり、まず運営委員会の選定が行われ、韓国側からKIM,JAE-SEONGさんと、BAEK,SOLさんの2人が議長立候補。日本側からは日本派件団長から推薦を頂いたこともあり私が立候補した。選挙の結果私が当選し、フォーラムに対して更なるやる気の向上が感じられた。他の役割は副議長にKIM,JAE-SEONGさんと、若狭　将生さんが選出され書記にBAEK,SOLさんと藤岡　晴菜さんが選出された。
翌日、開会式や、議長の挨拶、基調講演という流れでフォーラムが始まったが、中でも一番緊張したのは議長の挨拶。挨拶の中で私は出席者に3つのお願いをした。
1.大いに意見を言い合えること　2.広い視野を持ちたくさんの意見に耳を傾けること　3.メリハリをつけ体調管理にも努めるこれらを通じて良いフォーラムにしたいと考えた。
基調講演は全南大学校のムン・ヒョンイル教授に来て頂き、日韓関係を通じてみた私たちの役割について講演して頂いたが、とても奥の深い話で大変興味がもてた。
グループプロジェクトの討論会も始まり、何についてまとめるかを、議長団を中心に決めた。まず、スタッフから指定された4つの課題とともに、スカウトから提案されたプロジェクト案を多数決で8つの議題に絞込み、4グループに分け3つの議題を抽選で振り分けた。私のREDグループでは「学校について」「20年後の両国の発展のためにできること」「観光について」のくじを引当てた。まず、『学校について』話合うことにした。そして韓日の学校行事について、また挿絵に韓国人が考える日本の有名な料理、日本人が考える韓国の有名な料理についてまとめた。このグループプロジェクトの目的は、学校行事や食事など身近な事から理解を深めていくことと考えた。この後に行われた中間発表を通してそう感じた。
・給食、学校◎　・イベント◎　・部活　・授業　・交通手段　・設備　など、6つの小さな題を作り、その中から4つを選択し、し、模造紙に「食文化」「イベント」の2つについてまとめることにした。次に『20年後の両国の発展のためにできること』について話し合った。
友好が深まり日韓の行事が増える⇒出入国が増え色々な点で改善が見られる(規制緩和)⇒○文化交流がもっと盛んになる。 ○経済の発展が見られる。 ○平和へと繋がっていく。 そして、今回は『文化交流につい』纏めていくことにした。
①文化は人と人がいてはじめて成り立つものである。⇒②継続していくことが大切である。手段:手紙、E-mailなど⇒③このようなことを通じて文化の違いを理解する。④両国の文化の広がりを見せる。そして他の人々に伝えることにより人々が興味を持つ。⇒⑤興味を持った人々が調べたり渡航したりする。⇒⑥また、新たな人と人の繋がりが生まれる。⇒⑦これが②に結びつき文化交流のサイクルとなる。
このような、サイクルが形成されることで20年後両国の発展が見込まれると考えた。そのためには、今私たちが上記のよな努力をすべきと感じた。このグループプロジェクトでは話合いが中心となり、このグループプロジェクトで一番掘り下げていくことが出来たと思う。
最後に『両国の観光名所について』話し合った。お互いの国を知るために両国の観光名所を知ってもらい理解を深めようと考えた。両国が15箇所づつ紹介することになった。
日本からは、札幌雪祭り、青森ねぶた祭り、白神山地、日光東照宮、東京ディズニーランド、浅草寺、お台場、鎌倉、姫路城、奈良、京都、祇園祭り、厳島神社、阿蘇山、首里城を紹介した。模造紙に韓国と日本地図を記してこれらの名所をマーキングしていく。時間の許す限り名所の説明を簡単に付加え分かりやすい説明になるよう工夫に努めた。REDグループの私には発表の他に議長団の仕事があり、中でも一番心に残ったのが決議文である。ほぼ徹夜で作成。議長団以外のCHA,HYUN-JIKさん、LEE,YOUNG-SHINさん、YOON,JUNG-MIさんも手伝いに来てくれてとても助かった。彼,彼女たちの力がなければフォーラムを無事に終了させることは出来なかったと思う。ここで改めて感謝したい。
また、全羅南道　麗水市の地域探訪も印象的である。山に登ってお寺を参拝したり、海水浴場に行かせて頂いたり、とても良い経験になった。そして、国際パトロールジャンボリーやホームスティも非常に心に残る良い思いでとなった。
最後になりましたが、この派遣行事に参加するにあたって、ご協力を頂いた皆様に、厚く御礼申し上げます。
有難うございました。



菊章 授与式

おめでとう菊スカウト誕生!!

4月28日(金)地区定例総会の会場にて、2団の西村佳祐君と日下部峻君は保護者が見守るなか、鈴木地区コミッショナーから菊章が授与された。
また、9月1日(金)の円卓会議の席上で、7団の横井武尊君が両親出席のもと、鈴木地区コミッショナから菊章が授与された。菊スカウトの名誉を称え、大勢の地区役員や指導者から「弥栄」が贈られました。3名は団の面接と地区審査を見事にクリアーし、晴れて最高位の菊スカウト章と東京連盟からの記念のネッカチーフリングを胸に着けた。
これから、菊スカウトとして後輩の指導を続け、ベンチャーに上進して活躍するよう期待しています。

「弥栄」を受けた西村君と日下部君

鈴木地区コミッショナーから菊章を授与される

横井君